

ヒルドイド（ヘパリン類似物質製剤）の使い方について理解しましょう

ヒルドイドは皮膚の水分を保たせる成分です。保湿力が非常に高く、角化症、皮膚のかさつきを改善させてくれます。主成分はヘパリン類似物質で、アトピー性皮膚炎や乾燥肌、しもやけにも有効です。肌は何もしなければどんどん乾燥します。この状態を防ぐのが保湿です。保湿するには様々な方法がありますが、お勧めなのがヘパリン類似物質が主成分のヒルドイドです。ヘパリン類似物質は、血液が固まってしまうことを防ぎます。そのため、使用することで血行障害が改善し、肌の乾燥が自然に改善されていきます。

●2015年～2016年にかけて使用量が急増しています。

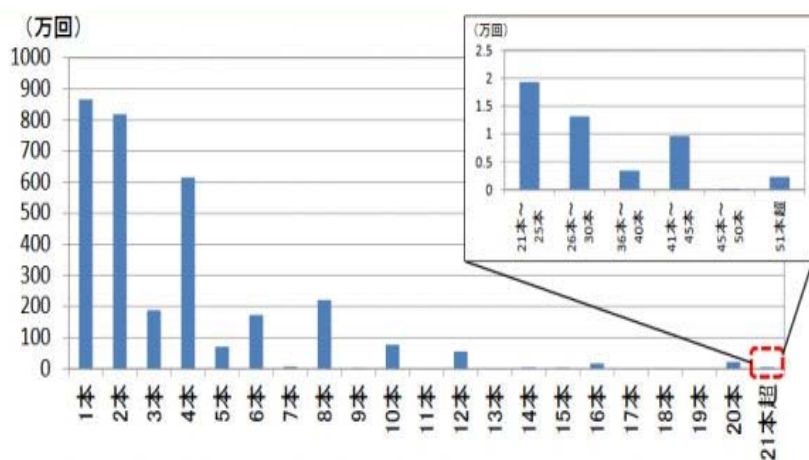
女性雑誌やWEBなどで多く取り上げられ、美容目的とされる使用がメディアでも問題視、適正使用を求める声が上がっています。ただ、ここで問題なのは、使用量の増加に伴って、ヘパリン類似物質の処方量が増加し、本来の治療目的での処方が不可能となっていくことです。このまま美容目的での使用が増加すると、本来、使用したい全身アトピー性皮膚炎の方など大量の保湿剤を必要とする患者様への処方ができなくなってしまう可能性がでてきてしまいます。このような患者様へ不利益が生じないように考えていかなければなりません。効果効能にあわせて適正使用していきましょう。

●ヒルドイドの効果とは

皮膚細胞に水分補給をする
傷の修復 治りを早める
持続性のある高い保湿力
血行促進作用
血液凝固を防ぐ
うっ血を改善する

以上の効果が認められることから、
皮脂欠乏症 進行性角化症 凍瘡
肥厚性瘢痕 ケロイドの治療と予防
血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患
血栓性静脈炎などの改善に用いられます。

ヘパリン類似物質の処方量の分布（2016年度）



赤ちゃんにも使用できる保湿剤であるため、安全性の高い保湿剤でもあります。ただし、どんな薬剤でも副作用があるため注意しましょう。

ヒルドイドは血行促進作用があるため、傷口、ただれのある部位、目には使用してはいけません。また、アトピー性皮膚炎、ニキビへの使用は有効成分の作用で悪化する恐れもあるため必ず医師の指導の元で使用するようにしましょう。

何の肌トラブルもないのに保険適用薬を使用する人が増えるのは問題です。市販の化粧品を塗っても改善しない乾燥肌は、皮脂欠乏症の可能性も考えられます。「話題だから」「モデルが使っているから」といった理由だけで安易に医薬品を常用してしまうと、かえって症状を悪化させてしまう恐れもありますので、当院にご相談の上、ご自分に合った保湿剤を選んでいきましょう。

ご相談ありましたらスタッフにお声かけください。